



## 授業の流れ

### 1 Greeting

#### あいさつ & 1 Question

##### ■スモールトーク

- ・ペア、グループの形態、テーマ設定を工夫する。
- ・既習表現の定着を図る。

### 2 Today's Contents

#### 学習の見通し

##### ■イントロダクション

- ・目標表現のインプットを十分に与える。
- ・和訳や文字を介さずに、英語の音声や視覚情報等により児童の気付きを促す。

##### ■めあての提示



### STEPS to the GOAL

単元末の言語活動と、そこに向かう本時のめあてを視覚的に分かりやすく示す。

#### 言語活動

##### ■音声からの慣れ親しみ

- ・ゲーム・クイズ・チャンツなどを活用する。

##### ■読む活動・書く活動

- ・音声で慣れ親しませた表現を活用する。

##### ! 日本語の説明を減らす

(やり取り・ジェスチャー・デモンストレーション)

##### ! コミュニケーションを図る必然性のある

場面・状況を設定する  
(情報・好み・選択による違いがある)

#### 振り返り

##### ■めあてに対する自分の学習状況の捉え

##### ■次時の見通し

### 自己分析ができる振り返りシート

めあてに対する自己評価 (A・B・C) と、その理由を記述させる。

### 3 Greeting

## あらゆる場面で意識するポイント

### コミュニケーションを円滑にする要素の指導

#### 《Good Communication》

教師がやってみせる  
児童にも使わせる

### Eye contact, Clear Voice, Reaction, Gesture, Smile

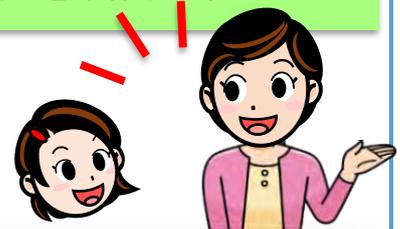
- ・繰り返し
- ・質問
- ・応答
- ・必要に応じた相づちの表現

I see. Really? Me, too!  
Pardon? Nice! Great!  
How about you? That's right!



### 1対1のやり取り・ 発言の機会の確保

全ての児童と英語でコミュニケーションを図る機会を確保する。



### 個に応じた対応・ フィードバック

個 ほめる・励ます・気付かせる  
質問に応じる

全 活動① 良いところをほめる  
改善点に気付かせる 活動②

研究 主題	「知りたい」「伝えたい」という児童の意欲を高める外国語科の授業づくり — 少人数で行う言語活動を工夫した「金山スタンダード・英語Ver.」の作成と活用を通して —
----------	--

## 第6学年外国語科学習指導案

指導月日 令和元年11月5日

所属校名 丸森町立金山小学校

氏名 佐久間 希

## 1 単元名 「My Summer Vacation」(文部科学省「We Can! 2」)

## 2 単元の目標

互いのことをよく知るために、過去に訪れた場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて、内容を整理した上で他者に配慮しながら伝え合うことができる。

## 3 研究主題との関連

「金山スタンダード・英語Ver.」の「1. 年間指導計画《他校との交流活動例》」「2. 単元構想」「3. 少人数のメリットを生かした授業の流れ・指導のポイント」を踏まえて単元指導計画、授業づくりに取り組む。

## (1) 年間指導計画《他校との交流活動例》

学習指導要領の移行期カリキュラムで実践している今年度は、10月に「My Summer Vacation」の単元を学習することになる。過去形を用いて、夏休みの思い出を伝え合うことが目標として設定された単元である。しかし、10月の実践という点を考慮すると、9月に行われた合同修学旅行を最終的な言語活動の題材としたほうが、児童の意欲を高めやすいと考えた。双方の児童は、旅行先の施設や郷土料理、工芸品などに関する様々な情報を共有しているが、楽しかったことや感想など、相手に伝えたいと思う内容に個人のしこう・選択の違いが表れる。また、自主研修での見学先や体験活動、食事などはそれぞれ異なる(インフォメーション・ギャップがある)ことから、自分たちの思い出を伝え合う必然性のある活動になると考えた。

## (2) 単元構想(①出会う ②分かる ③親しむ ④伝え合う)

① 新しい表現に出会う単元の導入場面では、教師とALTとの会話を聞かせることによって、児童の「知りたい」という意欲を高めるようにする。過去形は、児童が初めて出会う表現であるため、導入時にその表現を十分に聞かせることで、「何と言っているのだろうか?」「知りたい」という児童の興味や意欲を高めやすいと思われる。ここで、「過ぎた日のことを言っている」「“eat”ではなく“ate”と聞こえる」などと児童に気付かせることができれば、新しい表現を学ぶことへの意欲を高めることができると考える。さらに、単元末の言語活動(「小斎小学校の6年生と修学旅行の思い出を伝え合おう」)を示し、コミュニケーションを図る相手や目的を意識させ、その意欲を継続させたい。

② 新しい表現を聞いて分かる段階では、聞く活動から徐々に話す活動を取り入れるようにする。テキストの活動「Let's Play」(ポインティングゲーム、おはじきゲーム)以外にも、目標表現・語句を繰り返し聞かせられるようなゲームに取り組みさせる。聞き慣れてきたら、徐々に話す活動(キーワードゲームやLet's Talk)を取り入れていく。

③ 親しむ段階では、自分のことを表現する活動を通して、新しい表現に一層慣れ親しませる。テキストの活動は、「Let's Listen」や「Let's Watch and Think」がほとんどであるが、夏休みの

思い出や週末の出来事などを想起させながら、自分のことについて「話したい」「伝えたい」という意欲につなげていく。

- ④ ビデオ通話を活用し、単元末の言語活動「小斎小学校の6年生と修学旅行の思い出を伝え合おう」に取り組みさせる。自主研修で訪れた場所や食べた物、楽しかった思い出などはそれぞれ異なり、情報・しこう・選択の違いがあると思われる。普段あまり馴染みのない相手ではあるが、中学校で一緒になる友達であり、修学旅行という共通の話題がある。その思い出を伝え合う活動により、「相手はどんな場所を見学したのか知りたい」「自分たちの思い出を伝えたい」という意欲を高めることができると思う。

(2) 授業の流れ・指導のポイント

- I STEPS to the GOAL
- II 1対1のやり取り・発言の機会の確保
- III コミュニケーションを円滑にする要素の指導
- IV 個に応じた対応・フィードバック
- V 自己分析ができる振り返りシート

※ I～Vについては、第1時～第8時の指導過程において関連を示す。

4 単元指導計画（8時間扱い）

時	本時のめあて(◆)と主な学習活動(○,《》) 《 》 = テキストにある活動	指導上の留意点	使用表現
			語句
1	<p>◆<b>どんなことを言っているのか、どんな時に使えるのかを考えながら聞こう。</b></p> <p>○Introduction ・過去形の表現に出会う ・言語の使用場面を理解する ・単元のゴールを知る 《Let's Listen 1》 p. 36</p> <p>○Let's Review ・場所, 動作, 食べ物 《Let's Play》 p. 35</p> <p>○おはじきゲーム</p> <p>○カルタとり</p> <p>○仲間分け (I went to, I ate, I enjoyed)</p>	<p>・場所・動作・食べ物に仲間分けをさせることで、I went, I enjoyed, I ate, のカテゴリーを意識させることにつなげる。</p>	<p>I went to ~. ate ~. enjoyed ~. saw ~. It was ~.</p> <hr/> <p>summer vacation, mountain, sea, amusement park, grandparents' house, hiking, swimming, fishing, shopping, ice cream, watermelon, curry and rice, shaved ice, fireworks, camping, zoo, 既習の形容詞</p>
2	<p>◆<b>夏休みに行った場所や楽しんだことを聞こう。</b></p> <p>○Small Talk ・過去形を用いたやり取り 《Let's Chant》 p. 35</p> <p>○Let's Review (フエイント・リポート) 《Let's Play》 p. 35</p> <p>○ビンゴゲーム</p> <p>○キーワードゲーム (単語) 《Let's Watch and Think 1》 p. 36</p> <p>○真実のロゲーム (内容確認)</p>	<p>・日本語による説明を減らし、ジェスチャーやデモンストレーション等によって活動の進め方を理解させる。</p> <p>・チャンツは始めに音声だけで聞かせ、その後に映像を見せながら内容を確認する。</p>	<p>I went to ~. ate ~. enjoyed ~. saw ~. It was ~.</p> <p>前時と同じ ※児童の実態に応じて増やす</p>
3	<p>◆<b>夏休みのことについて、聞いたり言ったりしてみよう。</b></p> <p>《Let's Chant》 p. 35 (Original)</p> <p>○キーワード (センテンス) ゲーム I went to the ~. I went to the ~.</p> <p>《Let's Listen 2》 p. 37</p> <p>○オリジナルLet's Listen (他の先生方の話題)</p> <p>○真実のロゲーム (内容確認)</p>	<p>・校内の先生方から、夏休みにしたことなどを事前に聞いておく。それを英語で聞かせ、聞き取れたことをメモさせる。</p>	<p>I went to ~. ate ~. enjoyed ~. saw ~. It was ~.</p> <p>beautiful, fun, delicious, nice, exciting, good, great, fresh countryside, city, river,</p>
4	<p>◆<b>友達の夏休みの話を聞いたり、自分のことを話したりしよう。</b></p> <p>○Small Talk ・過去形を用いたやり取り 《Let's Chant 2》 p. 35</p> <p>○キーワードゲーム You (動詞) ____ . It was (形容詞) .</p> <p>○Let's Talk 前の人が行った場所を繰り返す、それに加えて自分が言った場所を話す。 《Let's Watch and Think 2》 p. 38</p>	<p>・繰り返しの表現 (I ____, You ____. ) を取り入れたキーワードゲームを行う。</p> <p>・感想を表現する、It was ~. の文にも慣れさせる。</p>	<p>I went to ~. ate ~. enjoyed ~. saw ~. It was ~.</p> <p>river, pool, nice store</p>

「知りたい」「伝えたい」という児童の意欲を高める外国語科の授業づくり

5	さらに慣れ親しむ (自己表現)	<p>◆自分がしたことや感想などを伝え合おう。 ～Good Communication～</p> <p>《Let's Chant 2》p. 35 (Original) 《Let's Listen 3》p. 38</p> <p>○Let's Talk (友達が行った場所を当てよう。)</p> <p>・食べた物 ・楽しんだこと ・感想 ※繰り返し・質問・応答などを使う。</p> <p>《Let's Read and Watch》p. 39</p>	<p>・J T EとA L Tがデモンストレーションを行い、コミュニケーションの悪い例, 良い例を示す。</p> <p>・《Good Communication》の掲示を参考に, 良い点に気付かせ, 意識付けをする。</p>	<p>※繰り返し・質問・応答などの表現 <i>Do you like ~?</i> <i>How about you?</i> <i>Really? Great!</i> <i>Me, too!</i></p> <p>※児童の実態に応じた表現 roller coaster, cold</p>
6	自分の思いを伝え合う (コミュニケーション)	<p>◆修学旅行の思い出を伝え合おう。</p> <p>○Small Talk ・週末・先月・修学旅行 《Let's Chant 2》p. 35 (修学旅行ワード)</p> <p>○My School Trip (修学旅行を振り返り, 行った場所や楽しんだこと, 食べた物, 買った物などを選ぶ。)</p> <p>○Let's Talk (A L Tに教える。)</p>	<p>・実際に児童が体験したことや見学先等の写真を準備しておき, 自由に選択できるようにする。</p> <p>・修学旅行で行った場所や見た物, 食べたものや楽しんだこと, 感想などを絵カード, 言葉 (日本語も可) で表させる。</p>	<p>I (You) went to ~. enjoyed ~. ate ~. saw ~. (bought ~.)</p> <p>It was ~.</p> <p>※繰り返し・質問・応答などの表現</p> <p>Tsurugajo, Imoriyama, Chinese noodle</p> <p>※児童の実態に応じた語句</p>
7	自分の思いを伝え合う (コミュニケーション)	<p>◆修学旅行の思い出をまとめ, 話す・聞く練習をしよう。</p> <p>○Small Talk ・修学旅行 《Let's Read and Write》p. 40 (伝えたい内容を整理して書く。)</p> <p>○Let's Practice (交流活動に向け, 伝えたいことが伝わるように工夫して話したり, 相づちを打ちながら聞いたりする練習をする。)</p>	<p>・話し方の良い点や改善点を全体で共有し, やり取りの練習に進む。</p> <p>・ビデオ通話を利用する実際の活動と同じような場面設定で1人ずつ練習させ, 慣れさせておく。</p>	<p>I (You) went to ~. enjoyed ~. ate ~. saw ~.</p> <p>It was ~.</p> <p>※繰り返し・質問・応答などの表現</p>
8	自分の思いを伝え合う (コミュニケーション)	<p>◆小斎小学校の6年生と, 修学旅行の思い出を伝え合おう。</p> <p>○Small Talk ○Let's Talk (交流活動) (他校の友達と伝え合う) (クイズタイム)</p> <p>○本時及び単元の学習を振り返る。</p>	<p>・待っている児童に聞く必然性を持たせるために, クイズを設定する。</p> <p>・児童の実態を考慮し, 教師側ペアや順番を決めておく。</p>	<p>I (You) went to ~. enjoyed ~. ate ~. saw ~.</p> <p>It was ~.</p> <p>※繰り返し・質問・応答などの表現</p>

5 第1～8時の指導過程 (NS補 5～20)

6 参考資料 (右図)

本単元で使用した振り返りシート

6th Grade UNIT 5

**My Summer Vacation**

NAME \_\_\_\_\_

振り返りシート

Date	めあて達成度	① A・B・C...選んだ理由	② 分かったこと・考えたことなど	先生から
1	新しい表現の使い方が分かった。	①		
✓	A B C	②		
2	夏休みの話を聞き行った場所やしたことが分かった。	A B C		
3	場所やしたこと, 感想などを聞いたり言ったりできた。	A B C		
4	話を聞いて理解したり, 自分で言ったりできた。	A B C		
5	自分が行った場所や楽しんだことなどを伝えることができた。	A B C		
6	修学旅行のことを先生や友達に伝えることができた。	A B C		
7	Good Communicationのポイントを意識して練習できた。	A B C		
8	小斎小学校の友達と思い出を伝え合うことができた。			

**第1時**

(1) 目標

- ・新しい英語の表現や使用場面に興味を持って聞き、理解しようとする。

(2) 指導過程

※金山スタンダード・英語Ver.との関連(Ⅰ)～(Ⅴ)

	学習活動	指導上の留意点	準備物等
	1 Greeting & 1 Question  2 Introduction ◆Today's Goal 「どんなことを言っているのか、どんな時に使えるのかを考えながら聞こう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALTとそれぞれ挨拶&amp;1 Question (既習表現の定着を図るもの)をする。</li> <li>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)</li> <li>・JTEとALTによる、目標表現を使用したやり取りを聞かせる。</li> <li>※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ)</li> </ul>	カレンダー 絵カード 夏休みの出来事に関する写真など 本時のめあて
	※「What's the date today?」で今日の日付を確認しておく。 ※目標とする表現を多く使用する。 ※今日の日付と過去の日付をカレンダーで指し示しながら強調し、児童の気付きを促す。 例) JTE: I have some pictures. Look at this one. Do you know it? ALT: No, I don't. JTE: I went to Sendai. This is Sendai Tanabata Festival. ALT: Oh, Sendai Tanabata Festival! When did you go? JTE: I went to the festival on August 6 <sup>th</sup> . ALT: Oh, I see. In your summer vacation, you went to this festival. JTE: Yes. This is the famous festival in Miyagi. There are so many decorations. It was wonderful! ALT: Great! Oh, in this picture, you were eating something. JTE: Yes, I ate shaved ice. It was too hot that day. So, I ate shaved ice. It was cool and delicious! ALT: Sounds good! You enjoyed your summer vacation!		
	①非言語の要素(写真やジェスチャー)を手掛かりにしながら過去の話について話していることに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつのことを話していたか、どんな内容だったかなど気付いたことを発表させる。</li> <li>※発言の機会を確保(Ⅱ)</li> </ul>	
導入(10分)	JTE ・どんな言葉が聞こえてきた?目で見て分かったことでもいいですよ。 ・今日は9月29日で、8月の夏休みのことを話していたよね。 ・先生は8月6日に何をしたのかな? ・そう、「行った」んです。他には? ・「行った」とか「食べた」と話していたんだね。 ・今までに習った英語と少し違うことに気付いたかな?	C ・七夕! フェスティバル? ・何かを食べていた ・サマーバケーションって夏休みかな? ・August 6th ・仙台七夕に行った ・「かき氷を食べた」って言っていた ・「go」じゃなくて・・・ ・前に終わっていることを言っている?	
	②過去の出来事について話しているという場面を理解した上で今度はALTの話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発言・気付きを褒め、「もっと聞きたい・知りたい」という意欲を高める。</li> </ul>	
	JTE: Next, let's ask to (ALT)! How was your summer vacation? ALT: My summer vacation? It was great! JTE: Great? What did you do? ALT: On August ○○, I enjoyed _____. I saw _____. I ate _____. ...		
	JTE ※①と同様に児童とやり取りをして、話の概要を確かめる。 ・今日は新しい表現が出てきたね。どんな時に使えそう? ・自分の夏休みのことを、誰かに教えられそうだね。 ・他に、もう過ぎたことでみんなの心に残っていることは? ・修学旅行の思い出も言えるようになりますね! ・修学旅行の前にテレビ交流したのってどこの学校? ・今度は英語でお互いの思い出を伝え合えたらいいね!	C ・夏休みのことを言うとき! ・夏休みじゃなくても使えるんじゃない? ・修学旅行とか・・・ ・確かに! 行ったところとか、食べた物とか・・・ ・小斎小と大内小!	
	③単元末の言語活動を知る。 「小斎小学校の6年生と、修学旅行の思い出を伝え合おう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の言語活動に向かって学習を進めることが視覚的に捉えやすいように、図を用いて提示する。</li> <li>※STEPS to the GOAL(Ⅰ)</li> </ul>	単元末の言語活動

展開 (30分)	<p>3 《Let's Listen 1》 p.36</p> <p>・3人の登場人物が夏休みにしたことを聞き取り、線で結ぶ。</p>	<p>・テキストの絵【fireworks, camping, zoo, fishing】を確認し、ALTが発音を聞かせる。(既習であれば児童にも発音させる。)</p> <p>・聞く観点を与える(夏休みに何をしたか)。</p> <p>・実態に応じて、ALTがゆっくり区切りながら読んで聞かせ、児童とやり取りをしながら内容を確認する。</p>	デジタル教材 絵カード			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> <p>例) ①Kosei</p> <p>ALT: What did Kosei do? Kosei enjoyed...?</p> <p>Right. Where did he go? He went to the...?</p> <p>Yes. He went to the mountains. He enjoyed camping.</p> </td> <td style="width: 40%;"> <p>C: Camping. Mountains.</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>例) ②Hana</p> <p>ALT: Where did she go? She went to the...?</p> <p>Yes. She went to the zoo. Then, what animal was cute?</p> <p>That's right. She saw a panda. It was cute.</p> </td> <td> <p>Zoo. Panda.</p> </td> </tr> </table>	<p>例) ①Kosei</p> <p>ALT: What did Kosei do? Kosei enjoyed...?</p> <p>Right. Where did he go? He went to the...?</p> <p>Yes. He went to the mountains. He enjoyed camping.</p>	<p>C: Camping. Mountains.</p>	<p>例) ②Hana</p> <p>ALT: Where did she go? She went to the...?</p> <p>Yes. She went to the zoo. Then, what animal was cute?</p> <p>That's right. She saw a panda. It was cute.</p>	<p>Zoo. Panda.</p>	絵カード
	<p>例) ①Kosei</p> <p>ALT: What did Kosei do? Kosei enjoyed...?</p> <p>Right. Where did he go? He went to the...?</p> <p>Yes. He went to the mountains. He enjoyed camping.</p>	<p>C: Camping. Mountains.</p>				
	<p>例) ②Hana</p> <p>ALT: Where did she go? She went to the...?</p> <p>Yes. She went to the zoo. Then, what animal was cute?</p> <p>That's right. She saw a panda. It was cute.</p>	<p>Zoo. Panda.</p>				
	<p>4 Let's Review</p> <p>①場所・動作・食べ物を表す語彙を思い出す。</p>	<p>・p.34-35.の絵カードについて、児童と既習表現を使ったやり取りをしながら発音などを確認する。</p> <p>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)</p> <p>※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ)</p>				
<p>例1) <b>Do you like ~?</b></p> <p>ALT: Do you remember this?</p> <p>C: Amusement park.</p> <p>ALT: That's right! It's an amusement park.</p> <p>Do you like roller coasters?</p> <p>C: Yes, I do.</p> <p>ALT: How about you, ○○?</p> <p>C: No. I don't like roller coasters.</p> <p>JTE: (ALT)にも聞いてみようか?</p> <p>C: Do you like roller coasters?</p> <p>ALT: Yes, I do. It's exciting!</p>	<p>例2) <b>Can you ~?</b></p> <p>ALT: Can you cook curry and rice?</p> <p>C: Yes, I can. I can cook curry and rice.</p> <p>ALT: Great!</p>					
<p>②絵カードを仲間分けする。</p>	<p>・場所・動作・食べ物に仲間分けをさせることで、I went, I enjoyed, I ate, のカテゴリーを意識させることにつなげる。</p>					
<p>JTE: Now, I want you to divide the cards into 3 groups.</p> <p>How do you divide?</p> <p>C: これとこれは食べ物だから...</p> <p>ALT: Oh, it's a food group. How about these?</p> <p>C: これは行った場所かな...</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">                 mountain sea amusement park grandparents' house             </td> <td style="width: 33%;">                 hiking swimming fishing shopping             </td> <td style="width: 33%;">                 ice cream water melon curry and rice shaved ice             </td> </tr> </table>	mountain sea amusement park grandparents' house	hiking swimming fishing shopping	ice cream water melon curry and rice shaved ice	went, ate, enjoyed の絵カード	
mountain sea amusement park grandparents' house	hiking swimming fishing shopping	ice cream water melon curry and rice shaved ice				
<p>5 《Let's Play》 p.35</p> <p>①おはじきゲーム</p> <p>12枚の絵から5つ選んで、絵の上におはじきを置く。教師やALTが、選んだ絵の単語や文を言ったらそのおはじきを取ることができる。早くおはじきがなくなった児童が勝ちとなる。</p> <p>②マッチングゲーム</p> <p>机の上に裏返しに並べたカードの中からJTEやALTが言った文と同じカードを選ぶことができたなら1ポイント。1人ずつ交代で行う。</p>	<p>・絵カードを提示して、各カテゴリーの言葉が、何を表すときに用いられるのかを整理する。</p> <p>・新しく出会う過去形の表現を何度も聞かせる。</p>	おはじき (5個×人数分) グループ分の絵カード				
<p>6 Reflection</p> <p>・振り返りシートに記入する。</p> <p>7 Greeting</p>	<p>・めあてに応じた振り返りの観点(音声面の違いに気付いたか、使用場面を理解できたかなど)を与える。</p> <p>・テキストにはない語句で、自分が言いたい表現があればシートに書かせる。必要に応じて教師が絵カードなどを用意しておく。</p>	振り返りシート ※自己分析ができる 振り返りシート (Ⅴ)				

**第2時**

(1) 目標

・夏休みについての話を聞き、訪れた場所や食べた物、楽しんだことなどを理解しようとする。

(2) 指導過程

**※金山スタンダード・英語Ver.との関連(I)~(V)**

	学習活動	・指導上の留意点	準備物等
導入 (7分)	1 Greeting & 1 Question	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALTとそれぞれ挨拶&amp;1 Question (既習表現の定着を図るもの)をする。</li> <li><b>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II)</b></li> <li>JTEとALTが、目標表現を使用して夏休みの出来事を紹介する。</li> <li><b>※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(III)</b></li> </ul>	
	2 Small Talk	<p>JTE: Do you remember that we studied last time? C: 夏休みのこと</p> <p>JTE: Yes! We talked about the summer vacation. For example, ...? (食べるジェスチャー・行くジェスチャー...) C: 食べた, 行った, 楽しかった...!</p> <p>JTE: Yes! I ate... I went... I enjoyed... 夏休みのことや, 修学旅行のこと, もう過ぎたことを言うときに使えるんだね。 Today, I'll show you another memory of my summer vacation. Look at these pictures! This is a leisure pool in Yamagata. Do you know it? C: 行ったことある!</p> <p>JTE: Really? This is (施設の名前). I went to Yamagata with my family. I enjoyed swimming and the water slider. It was fun! This is the lunch time. I ate <i>yakisoba</i>. He ate curry and rice. It was good. ...</p> <p>Do you know what I said? What did I eat? I ate...? What did I enjoy? I enjoyed...? Good! Now, let's listen to (ALT)'s memory in summer vacation.</p> <p>ALT: O.K. In my summer vacation, I went to ____. I enjoyed ____. I ate ____ ...</p> <p>JTE: What did he go? He went to...? What did he enjoy? He enjoyed ...? ...</p>	
	◆Today's Goal 「夏休みに行った場所や楽しんだことを聞こう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の言語活動に向かって学習を進めることが視覚的に捉えやすいように本時のめあてを提示する。</li> <li><b>※STEPS to the GOAL(I)</b></li> </ul>	単元末の言語活動 本時のめあて
展開 (33分)	3 Let's Review ①フラッシュカード	<ul style="list-style-type: none"> <li>①p. 34-35. の語句の発音を確認する。 前時で分けたカテゴリを確認しながら黒板に絵カードを貼っていく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ALT: Which group is the mountain? Went? Ate? Enjoyed? ... C: Went!</p> </div>	p. 34-35の絵カード went, ate, enjoyed の絵カード 
	②フェイント・リピート ALTの後に続き、黒板上で指された絵カードを発音する。ALTのフェイントにかからないよう、音だけでなく目で見て正しく判断する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>②ALTが黒板の絵カードを指しながら発音し、児童にリピートさせる。時々、絵と異なる語を言ってフェイントをかける。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ccc;">mountain</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ccc;">ice cream</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">Ice cream</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ccc;">sea</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #ccc;">watermelon</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">Shaved ice</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">Watermelon!</div> </div>	
4 Let's Play ①ビンゴゲーム 12枚の絵カードから9枚を選び、3×3で机の上に並べる。ALTの英語を聞いて該当する絵カードを裏返す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ビンゴ用の絵カードを配る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>JTE: Let's play bingo games! Please choose 9 cards. Put your cards on the desk like this. (3×3) When you hear the words of your cards, turn it over. ALT: "I went to the sea."</p> </div>		p. 34-35. の絵カード (5人分)
②キーワードゲーム ペアになり、ALTの後に続いて発音する。キーワードが出たら、発音せずにハイタッチをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>②JTEとALTでデモンストレーションを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>JTE: Make pairs. Please repeat after (ALT) and clap your hands ** like this. But, when you here the key word, don't say the word. High touch with your partner.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語による説明を減らし、ジェスチャーやデモンストレーション等によって活動の進め方を理解させる。</li> <li>児童の理解を確認し、必要に応じた対応をする。</li> <li><b>※個に応じた対応(IV)</b></li> </ul>		※前時の振り返りシートに、児童が使いたい言葉を書いていけば、その絵や写真のカードを紹介して加えても良い。

「知りたい」「伝えたい」という児童の意欲を高める外国語科の授業づくり

	<p>5 《Let's Chant》 p. 34 (Summer Vacation)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえてくる言葉に気を付けてチャンツを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始めに音声だけで聞かせ、聞こえてきた言葉を発表させる。</li> <li>チャンツに出てくる順(カテゴリーごと)に絵カードを黒板に貼る。</li> </ul>	<p>デジタル教材 p. 34-35の絵カード went, ate, enjoyed の絵カード</p> 
<p>展開 (33分)</p>	<p>6 《Let's Watch and Think1》 p. 36</p> <p>①デジタル教材を視聴し、登場人物が行ったところと、そこでしたことを誌面に記入する。</p> <p>ALT: What did he eat? C: Hot dog. ALT: Yes! He ate a hot dog. Was it good? Spicy? Salty? ... C: Delicious! ALT: Yes! It was delicious! How about John?</p> <p>②真実のロゲーム ペアで行う。</p> <p>①の内容 (Mark, John) についてALTの言うことが正しいか間違いかを聞いて判断する。</p> <p>※間違いの場合 A:手を引っ込めて逃げる B: Aの手を挟んで捕まえる</p>  <p>・Markの問題, Johnの問題で, 逃げる・捕まえる役割を交代する。</p>	<p>JTE: You are getting better to listen. Then, listen to the new chant. (映像を見せずに, 音声だけ聞かせる。) What English words did you catch? C: "Mountain". "Ice cream". "Swimming". ALT: Great! Listen again and catch more English. C: "Nice vacation" "I went to" "I ate" ...</p> <p>・実態に応じて, 区切りながら聞かせるなどの工夫をする。</p> <p>・一通り聞き取れたところで, 今度は映像を見せながらチャンツを聞かせ, 内容を確認する。</p> <p>①2人の登場人物が, 自分の夏休みのことを話す映像であることを伝える。まずは「行ったところ」と「したこと」を聞くという観点を与える。</p> <p>ALT: The first boy is Mark. Where did he go? He went to ...? C: Mountains. ALT: Right! He went to the mountains this summer vacation. What did he enjoy? He enjoyed...? C: Camping.</p> <p>・実態に応じ, ALTがゆっくりはっきりスクリプトを読み聞かせる。</p> <p>・「その他」の情報(食べた物・感想等)についても聞き取れた児童に発表させ, それぞれの話の概要を捉えさせる。</p> <p><b>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)</b></p> <p>②ペアを作らせ, ①のMarkの話, Johnの話に関する問題を出す。</p> <p>ALT: First, Mark's vacation. No.1: He went to the mountains. (○) No.2: He is in America. (○) No.3: He ate sandwiches. (×) ... JTE: Now, switch your roles. Next is John's vacation. ALT: No.1: He is in Japan. (×) No.2: He went to the park. (○) ...</p>	<p>形容詞の絵カード beautiful, fun, delicious, nice, exciting, good</p>
<p>終末 (5分)</p>	<p>7 Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートに記入する。</li> </ul> <p>8 Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに応じた振り返りの観点(夏休みについての英語を聞いて, 行った場所やしたことが分かったか, それ以外のことも分かったか)を与える。</li> </ul>	<p>振り返りシート <b>※自己分析ができる振り返りシート(V)</b></p>

**第3時**

(1) 目標

- ・夏休みのことについて、訪れた場所や食べた物、楽しんだことや感想などを聞いたり言ったりする。

(2) 指導過程

**※金山スタンダード・英語Ver. との関連(I)~(V)**

	学習活動	指導上の留意点	準備物等											
導入 (10分)	<p>1 Greeting &amp; 1 Question</p> <p>2 Let's Review</p> <p>①フラッシュカード&amp;フェイント・リピート</p> <p>②《Let's Chant》p. 35</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Do you remember the chants? ※チャンツを流す。 What's the first word? What's next? C: Mountain. / Sea. ALT: Yes, <b>I went to</b> the mountain. <b>I went to</b> the sea. Then, <b>I enjoyed</b>...? C: Hiking. / Swimming. ※<b>I ate</b> も同様に確認する。</p> </div> <p>・オリジナルのチャンツを作る</p>	<p>・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALTとそれぞれ挨拶&amp;1 Question (既習表現の定着を図るもの)をする。</p> <p><b>※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(III)</b></p> <p>・p. 34-35.の語句の発音を復習したり、それ以外に児童が使いたい語句があれば紹介したりする。</p> <p>・前時に扱った「My Summer Vacation」のチャンツを聞かせ、出てきた語句を確認しながら、センテンスカードと絵カードを黒板に貼る。</p> <p>(ゆっくり→ふつう) ※黒板の絵カードを外し、代わりに児童が選んだ絵カードを貼っていく。</p>	<p>絵カード</p> <p>デジタル教材 センテンスカード</p> <p><b>I went to</b> <b>I ate</b> <b>I enjoyed</b> <b>It was</b></p> <p>形容詞の絵カード</p>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Today, we want you to make an original chant. ALT: O.K. The first, <b>I went to</b> words. Please choose 2 cards or tell me the place you went. ...</p> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>I went to</b></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>I ate</b></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>I enjoyed</b></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>It was</b></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Nice</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵カード</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>・作ったチャンツを行う</p> <p>◆Today's Goal 「夏休みのことについて、聞いたり言ったりしてみよう。」</p>	<b>I went to</b>	<b>I ate</b>	<b>I enjoyed</b>	<b>It was</b>	絵カード	絵カード	絵カード	Nice	絵カード	絵カード	絵カード		<p>※全員の児童とやり取りをしながら、<b>I went to</b> <b>I ate</b> <b>I enjoyed</b> に続く言葉を2語ずつ選ばせ、絵カードを黒板に貼る。</p> <p><b>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II)</b></p> <p>・本時のめあてを提示する。 ・前時までは聞く活動を中心に行ってきたので、本時からは話す活動も行い、ステップアップすることを視覚的に分かりやすく示す。</p> <p><b>※STEPS to the GOAL(I)</b></p>
<b>I went to</b>	<b>I ate</b>	<b>I enjoyed</b>	<b>It was</b>											
絵カード	絵カード	絵カード	Nice											
絵カード	絵カード	絵カード												
展開 (30分)	<p>3 Let's Play</p> <p>○キーワードゲーム</p> <p>・ALTの後に続いて発音する。キーワード(センテンス)が出たら、発音せずにペアを組んだ相手とハイタッチをする。</p> <p>※児童が1文ずつ順に言い、他の児童がその後が続いて言うというやり方もできる。教師が決めておいた秘密のキーワードを言い当てた児童が勝ち。</p>	<p>・最初はキーワード(単語)で行い、慣れたらキーセンテンスとして、文をリピートさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Now, (ALT) says a sentence. For example, ... ALT: "I went to the mountain." JTE: You say "I went to the mountain." ** (clap x 2) When you here the key sentence, don't say it and high touch with your partner.</p> </div> <p>・p. 34-35.以外の語句で、チャンツの際に児童から出された語句や、既習の形容詞も取り入れて行う。</p>												
	<p>4 Let's Listen</p> <p>①《Let's listen 2》p. 37</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Before you listen to the talk, let's check these words in English. ALT: (Pointing pictures) Do you know this? 【city, countryside, exciting ...】 C: タワー? ビル? 都会? ALT: Yes, it's the city. ...</p> </div> <p>・音声聞き、誰のことが話されているかを考え、内容に合う絵を線で結ぶ。</p>	<p>・音声聞かせる前に、誌面にある絵の英語での言い方を確認する。</p> <p>・1回目は全体を通して音声を聞かせる。 ・2回目は区切りながら聞かせたり、ALTがスク립トを読んだり、児童の様子に応じて対応する。</p> <p><b>※個に応じた対応・フィードバック(IV)</b></p> <p>・ALTが全員の児童と英語でやり取りをしながら答え合わせをする。</p>	<p>デジタル教材</p>											

展開 (30分)	<p>JTE: Let's check the answer. ALT: No.1 is Saki. Where did she go? She went to...? C: Sea! ALT: Right. She went to the sea. C: She went to the sea. ALT: What did she enjoy? C: She enjoyed swimming. ALT: Very good! She enjoyed swimming. ...</p>	メモ用ワークシート 他教員への事前インタビュー
	<p>②オリジナルLet's Listen</p> <p>※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)</p> <p>・校内の先生方から、夏休みにしたことなどを事前に聞いておく。それを英語で聞かせ、聞き取れたことをメモさせる。 (インフォメーション・ギャップのある活動)</p>	
	<p>JTE: 先生や(ALT)の夏休みのことは、前に紹介しましたね。では、他の先生方はどんなことして過ごしたと思う?実はインタビューしてきました。Now, (ALT) will talk about other teachers' vacation. So, listen carefully, and take a memo. ※ワークシートを配布する。 ALT: Who am I? I'm Mr. xxx. Listen to me. In August, I went to _____. I enjoyed _____. I ate _____. It was _____. ... JTE: Did you understand his vacation? Where did he go? ... Guess who it is!</p>	
<p>③真実のロゲーム ペアで行う。 ②の内容(先生方の夏休み)について、ALTの言うことが正しいか間違いかを聞いて判断する。 ※間違いの場合 A:手を引っ込めて逃げる B:Aの手を挟んで捕まえる</p> <p>B:つかむ  A:逃げる</p>	<p>・適宜ペアや役割(A・B)を変えながら行う。</p> <p>例) ALT: First, Mr. ○○'s vacation. No.1: He went to Yamagata. (○) No.2: He ate swimming. (×) No.3: He enjoyed swimming. (○)</p> <p>・最後の語句だけで判断せず、文全体を聞く必要のある問題にする。 ・「(3・2・1)STOP!」などと声掛けして、○か×かを確認しながら進める。</p>	
終末 (5分)	<p>5 Reflection ・振り返りシートに記入する。</p> <p>6 Greeting</p>	<p>・めあてに応じた振り返りの観点(行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などをまねて言えたか、正しく聞き取れたか)を与える。</p> <p>振り返りシート ※自己分析ができる振り返りシート(V)</p>

(3) メモ用ワークシート例

6<sup>th</sup> Grade UNIT5 My Summer Vacation

Name \_\_\_\_\_

Let's Listen!

## Teachers' Summer Vacation

Name	No.1 ( )	No.2( )	No.3( )
went 			
ate 			
enjoyed 			
It was			